



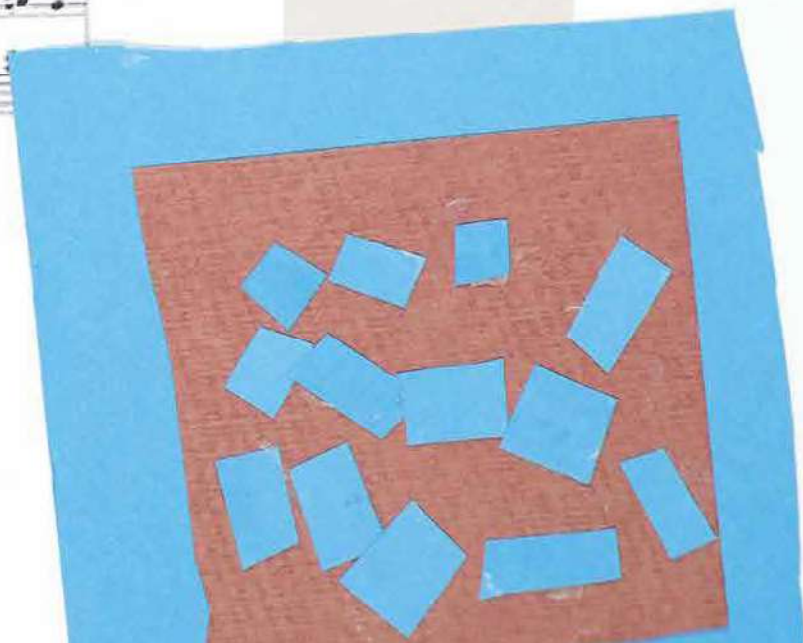
みなさんの暮らしと  
つながっています。

Vol.77

令和7年(2025年)

5月1日発行

# はまた 議会だより





# 3月定例会議

今回はこれがポイント！

## 令和7年度浜田市一般会計予算433億600万円の過去最大規模

3月定例会議では、まず市長から令和7年度の施政方針が示されました。議案の中で特に注目されたのは、浜田市行政組織条例の一部改正、職員の採用や勤務時間、旅費、特殊勤務手当など人事に関する条例などの一部改正、浜田市手数料条例の一部改正、浜田市温泉事業条例の一部改正および人権擁護委員候補者の推薦等が挙げられます。

予算決算委員会では、令和6年度浜田市一般会計補正予算（第8号）において、国の補正予算に伴い、特に備蓄物資配置事業において、避難所の生活改善のため、備蓄計画に達していない資機材が充実されました。

そして、709事業からなる一般会計をはじめ、国民健康保険などの特別会計や上下水道事業などの公営企業会計の令和7年度当初予算を審査しました。

中でも「三桜酒造跡地活用を核とした浜田駅周辺活性化基本構想策定事業」は、予算決算委員会において執行部への質疑の後に、議員間での自由討議を経て、当該事業費を減額する修正案が10人の委員から提出され、委員会において可決されました。そして、本会議において、委員長から修正案が可決された旨が報告され、9人の議員が討議を行い、採決の結果、「修正案」が可決されました。（詳細は、このページ下段および次ページをご参照ください。）

また、予算決算委員会での審査において、「新市誕生20周年記念関連事業」および「石見神楽伝承内容検討事業」について議員間での自由討議を行い、さまざまな議論を重ねました。その結果、一般会計予算を可決した上で、次のとおり附帯決議案を全会一致で予算決算委員会から提出することとなり、3月定例会議最終日の本会議においても、同内容の附帯決議を全会一致で可決しました。

### 1 新市誕生20周年記念関連事業について

新市誕生20周年記念事業（盆踊り大会）は、市民が参加しやすい事業となるよう事業名を変更されたい。また、にぎわいの創出につながるような内容を実行委員会で検討されたい。

### 2 石見神楽伝承内容検討事業について

検討委員会におかれては、拠点となる場所にこだわらず、石見神楽の保存・伝承について、拠点の機能や展示活用方法および内容等を協議されたい。

## 令和7年度浜田市一般会計予算を修正可決！

今定例会議で、三桜酒造跡地活用を核とした浜田駅周辺活性化基本構想策定事業費1,401万4千円を削除する修正案を可決しました。修正案が可決されたのは浜田市議会において初めてのことです。

### 修正案により削除された事業の内容は？

三桜酒造跡地活用を核として浜田駅周辺エリアのにぎわい創出に向けた基本構想を策定する事業。

①三桜酒造跡地に、石見神楽の保存・伝承と郷土資料館の複合施設である「（仮称）神楽伝承・郷土資料館」、石見神楽を柱としつつ多目的にも活用できる「（仮称）神楽ホール」、市内外の多くの人が訪れ交流できる「屋外の交流広場」の整備構想（委託料：776万6千円）

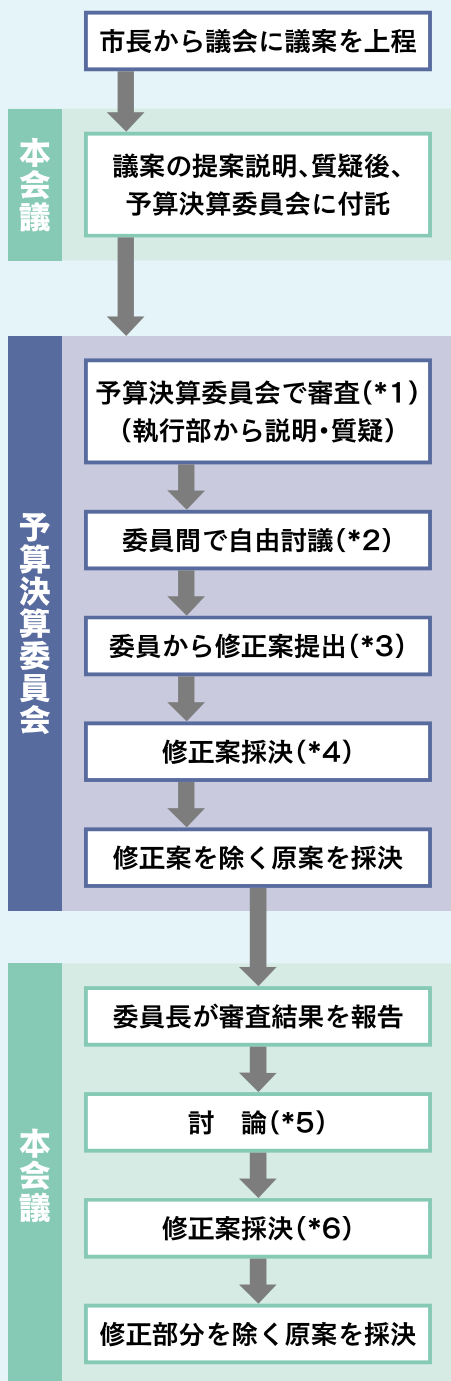
②三桜酒造跡地を核として浜田駅周辺エリアのにぎわい創出を目指した活性化計画の策定（委託料：624万8千円）

### 議案の修正とは？

市長から議会に、議案（条例の制定・改廃・予算を定めることなど）の提出があった場合、本会議および常任委員会等で審査し、議決を行います。

議案の内容に対し、議員（委員）は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えて提出します。

## 令和7年度浜田市 一般会計予算議案 審査の流れ



### 予算決算委員会での審査経過

令和7年度浜田市一般会計予算が付託された予算決算委員会で、今回修正された事業について市長から提案の経緯と今後についての補足説明があり、その後12人の委員から質疑がありました。(\*1)

**質** この予算案を可決した場合、提案された案で進んでいくことになるのか？

**答** 今回の基本構想策定はあくまでもたたき台であり、この案で進められるか判断するための予算である。

**質** 石見神楽の保存・伝承と郷土資料館を複合施設とする理由は？

**答** 浜田資料館の建て替えと石見神楽保存・伝承施設の整備は長年の課題であり、財政面を考慮すると複合化が現実的で、専門家の知見を借りて具体的にやるかやらないかも含めて検討したい。

質疑後、委員間で自由討議が行われ、多くの委員の発言があり活発な議論が行われました。(\*2)

その後、10人の委員から連名で議案に対する修正案が提出され(\*3)、修正案の説明、質疑後、修正案についての採決(\*4)で賛成多数で修正案可決となりました。また、修正部分を除いた原案についても可決となりました。

### 本会議(最終日3月18日)の審議結果

予算決算委員会委員長から、委員会で可決された修正案の内容および修正部分を除く原案を可決した旨の報告が行われました。

その後9人の議員から討論がありました。(\*5)

#### 修正案に賛成する討論

老朽化が進む郷土資料館の建て替えと石見神楽の振興は必要であると考え。しかし、この事業の計画の具体性や市民の理解が不十分であること。三枝酒造跡地の活用方法や駅前周辺全体の活性化の位置付けが曖昧である。また、浜田駅周辺エリアのにぎわい創出に向けた現状分析および調査事業の結果からも、にぎわい創出へつながるかという疑問は払拭できない。拙速な計画推進ではなく、より慎重な議論と市民への丁寧な説明が必要である。

#### 修正案に反対する討論

この事業は浜田市の歴史と文化を未来につなぐための重要な一歩であり、特に老朽化が進む郷土資料館の建て替えと、日本遺産である石見神楽の振興拠点の整備は喫緊の課題である。検討委員会からの提言があるように複合施設としての可能性を探り、にぎわいを創る基本構想の事業予算であり、市民に対する具体的な論議を予定する上で不可欠である。長年の検討事項であり、今こそ議論を前に進めるべきである。

討論後、修正案の採決の結果、賛成10人、反対9人(欠席1人)となり、修正案が可決されました。(\*6) 賛否の結果は5ページに掲載しています。また、修正部分を除く原案は全会一致で可決されました。

## 討論

### 9人の議員が本会議で討論しました!!

#### 修正案に賛成の討論

・村木 勝也、三浦 大紀、沖田 真治、川上 幾雄

#### 修正案に反対の討論

・大谷 学、小川 稔宏、岡本 正友、芦谷 英夫、牛尾 昭

当日の動画および討論の内容はこちらの2次元コードからご覧ください。



# 令和7年度注目事業の概要と着眼点



## ▶ 地域振興

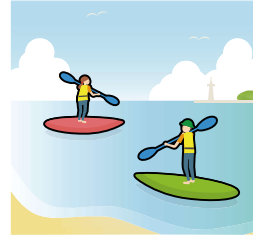
### 新市誕生 20周年記念事業 (盆踊り大会)

事業費:621万円

新市誕生20周年の記念事業として、ふるさと浜田への郷土愛、市民同士の交流を深めることを目的に、石州浜っ子夏まつりに併せて全市挙げての盆踊り大会を開催する費用を実行委員会に対して助成する。

この事業は、市民が参加しやすい事業となるよう事業名を変更されたい。また、にぎわいの創出につながるような内容を実行委員会で検討するよう予算執行にあたっての議会としての要望を附帯決議として可決した。

着眼点



## ▶ 定住関係人口

### 人材還流による 移住促進事業

事業費:864万円

都市部に住む県内出身の学生や浜田市と関わりのある若者が対象で一つの拠点にこだわらない働き方や、ワークライフバランスを重視した働き方など多様な価値観を持つ若者に向けての事業。滞在プログラムへの参加をとおして移住体験をし、関係人口の拡大と移住者の増加を図る。

体験後に浜田市のファンになり、関わりたいと感じてもらえる魅力や暮らしぶりに触れる滞在プログラムの構築がポイントになる。興味を持つターゲット層に届く情報発信にも期待する。

着眼点



## ▶ 歴史・文化の伝承と創造

### 石見神楽伝承内容 検討事業

事業費:1,127万円

市内に散逸している歴史的な神楽用具や関係資料、歴史整理に関する調査についての費用。

石見神楽保存・伝承拠点の検討を行うため学識経験者、神楽団体、神楽関連産業従事者により構成された検討委員会より基本構想を策定する費用。

浜田の子どもたちが、ふるさとを象徴するものとして石見神楽をどのような形で捉え、ふるさと郷育につなげていくのか？  
「石見神楽を創り出したまち」として市民の誇りの醸成につなげていくのか？

着眼点



## ▶ 防災

### 避難所看板設置 事業

事業費:336万6千円

各避難場所がどの災害に適しているかを市民等に日頃から周知し、災害時に適切な避難場所に避難できるようにするため、避難所看板に豪雨・地震・津波などの災害種別に適しているかを「○」「×」で表示する。指定緊急避難所8カ所、指定避難所（福祉避難所含む）86カ所に設置する。

災害リスクの有無が一目で分かるように表示した看板を見ることで、日頃から防災や災害避難所に対しての意識が高まり、家族間や地域で災害時の避難に関して話し合う機会が増えることに期待する。

着眼点



## ▶ 高齢者福祉

### 高齢者補聴器 購入費助成事業

事業費:279万5千円

身障者手帳の交付対象とならない中等度難聴の高齢者に補聴器購入費用を助成。

難聴は認知症の最大の予防可能なリスク要因とされており、その進行抑制を目的にした事業。補聴器の購入補助は、これまで要望が寄せられていたが、財源確保に伴い実施に至った。経済的負担軽減による補聴器の普及に期待したい。なお、交付決定後3カ月後、1年後に評価検証のアンケートが実施されるが、長期的観察の必要性も要検討。

着眼点



## ▶ 市民生活

### スマート窓口 整備事業

事業費:1,781万5千円

各支所への来庁者が本庁とオンラインでやりとりできるよう、モニターや書画カメラなどを設置する。

試験的導入を経ての本格導入。窓口のデジタル化によって市民の利便性向上と職員の業務効率化への期待が持てる。令和7年度は、国が推進する「自治体情報システムの標準化」も実施される予定でもあり、証明書交付申請書の記入が不要な「書かない窓口」の整備が一層進むことを期待したい。

着眼点



#### ▶ 農業振興

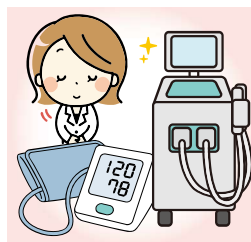
### 学校給食への 有機農産物 提供事業

事業費：78万円

有機米の学校給食への提供回数は地域によって差があったが、この事業によって市内すべての小中学校で年間5回の有機米による学校給食が実施される。地元の農産物を知る機会となり食育の促進にもつながる。

#### 着眼点

生産した農産物が地元の児童生徒に提供されることによって農家の生産意欲や収益の向上が期待され、有機農業の営農の維持や拡大を図ることができる。地産地消や地域の農地保全にもつながり、営農者増で学校給食提供回数も増えることに期待する。



#### ▶ 健康医療

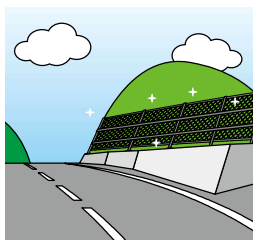
### 浜田医療センター 医療機器更新等 支援事業

事業費：1,000万円

地域医療の中核を担う浜田医療センターに対して、市が認める医療機器更新などに係る経費を支援する。

#### 着眼点

同センターは厳しい経営が続いているが、不採算診療科の維持や利用者の利便性確保に努められている。高額な機器更新は財政負担も大きいことから、救命救急、分娩、がん治療などが続けられるよう、必要不可欠な医療環境を維持する側面から、執行部案に理解を示した。一方で、事業費（補助の規模）の妥当性については、複数の議員から増額を求める声があった。



#### ▶ 道路安全対策

### 市道法面緊急 安全対策事業

事業費：1億円  
(令和7年度は5,000万円)

令和7年度と8年度で市道に落石防止防護柵などを設置する。  
令和7年度対策箇所：10カ所  
浜田15号線、黒川上府線、久代帯石線、中峠線  
今福有福線（3カ所）、久保田谷線、早水線  
稲代大坪線  
令和8年度対策箇所：9カ所 今井迫長見線他

#### 着眼点

以前から危険度の高い箇所から計画的に対応してきたが、対応が追いついていないことから緊急対策を講じることによって交通の安全を確保することが促進される。



#### ▶ 地震対策

### 建築物耐震 改修促進事業

事業費：2,060万円

地震による建物被害などを未然に防止するため昭和56年6月以前に建てられた木造2階建て以上の住宅が対象。

- ・耐震診断事業 補助率 9/10 限度額 6万円
- ・補強計画策定事業 補助率 2/3 限度額40万円
- ・耐震改修事業 補助率 23/100 限度額80万円
- ・解体助成事業 補助率 23/100 限度額40万円

#### 着眼点

従来の事業に加え、新たに耐震シェルター設置事業（補助率1/2 限度20万円）により緊急避難できる場所が屋内に確保できるようになる。

## 議案等の賛否の公開

1月臨時会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。

3月定例会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。各議員の賛否や、陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和7年1月 ●臨時会議● 市長提出議案1件

令和7年3月 ●定例会議● 市長提出議案38件 議会提出議案3件

| 議案番号等 | 議案名等                     | 賛成 | 反対                                      |
|-------|--------------------------|----|-----------------------------------------|
| 修正案   | 議案第28号令和7年度一般会計予算に対する修正案 | 10 | 9<br>大谷、柳楽、小川、<br>布施、岡本、芦谷、<br>田畑、川神、牛尾 |

請願・陳情について審査しました 請願1件 陳情3件

| 請願の内容                                   | 提出者                       | 結果 |
|-----------------------------------------|---------------------------|----|
| 国に対し、「刑事訴訟法の再審規程（再審法）の改正を求める意見書」の提出について | 日本国民救援会島根県本部<br>会長 大國 久美子 | 採択 |

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。  
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



# 市政を問う

17人が  
個人一般  
質問

こちらから動画をご覧ください。



## すべての人に健康と福祉を

### 「命」を守る医療体制の充実を図れ！

・石見神楽伝承施設 他  
・港湾活用による都市機能強化

(その他の質問項目)

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目

・その他の質問項目



川神 裕司

## 地域医療と人口減少対策は

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。

「若者が暮らしたいまちづくり」を進めていく。



永見 利久



## 質の高い教育をみんなに

### 夜間中学の存在意義と役割の普及啓発が重要

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他

・高額療養費自己負担額  
の上限引き上げ 他



小川 稔宏

## 質の高い教育をみんなに

### 次代を担う子どもの教育改革を進めよ



芦谷 英夫

- 【Q】全国学力学習状況調査から教育のあり方改革は。
- 【A】授業改善の取組が重要となり、協調学習や要約学習などにより読解力や論理的思考を育みたい。
- 【Q】全国で小中学生の自殺が過去最高となり、これへの市の具体的対応は。
- 【A】各校で生命の大切さを学ぶ授業を行い、一人一人の自尊感情が育まれる指導に努めたい。
- 【Q】教員の労働負担の軽減、働き方改革は。
- 【A】1月あたり時間外労働30〜50時間、持ち帰り仕事約10時間あり、サポートスタッフや緊急校務支援員で支援したい。
- （その他の質問項目）
- ・歴史文化行政の推進
  - ・外国人・広域観光客の増

### 不登校児童支援の充実を！



村武 まゆみ

- 【Q】令和6年度から始まった校内フリースクールの現状は？
- 【A】試行的に小学校2校に設置した。次年度も子どもや保護者に寄り添いながら対応していく。
- 【Q】地域と連携することが必要だと考えるが体制はあるか？
- 【A】令和7年度から始まるコミュニティスクールの中で協議され、地域の中で小さくても不登校児童の居場所ができることを期待している。
- 【Q】不登校児童の保護者への悩みの対応は？
- 【A】悩み相談情報交換の場の開催を検討している。
- （その他の質問項目）
- ・未就学児の発達
  - ・医療的ケア児の支援
  - ・子どもの権利
  - ・女性が生きやすい社会

### 浜田市内中学校の部活動 今とこれから



肥後 孝俊

- 【Q】なぜ部活動の地域移行が必要なのか？
- 【A】教員の長時間労働、生徒数の減少などを背景に地域移行は必要と考える。また、学校と地域が連携し生徒の育成、教員の負担軽減、地域スポーツ振興を図るため。
- 【Q】教育委員会の役割は？
- 【A】部活動関係者の調整、方針策定、活動場所の確保、経済的支援など多岐にわたる。
- 【Q】部活動地域移行のスケジュールは？
- 【A】まずは令和7年度中に市の方針を策定する。
- （その他の質問項目）
- ・感震ブレイカー設置に向けた啓発
  - ・エネファーム導入
  - ・CO2フリー電力導入
  - ・市民参加によるカーボンスニール推進

### 小中学校の教育環境整備



川上 幾雄

- 【Q】財政が県内トップクラスで貯金は1位であるならば、児童生徒を愛し育てていただく教育関係の方々に、施設・インフラの整備を行い、安全性を確保し、安心して教育に向き合え、子どもたちが学べる環境を整備することこそ、首長の役目であると思うが市長の所感。
- 【A】安全に学ぶための場づくり、また教育環境の整備は大変重要なことと思っており、この3年は緊急対策としてふるさと応援基金を活用した対策にも取り組んでいる。一方で財政状況も維持しながら健全財政を考慮し、教育だけでなくバランスよくさまざまな事業に必要な予算は確保する。これが基本的な取組方針である。



## 産業と技術革新の基盤をつくろう

### 農機オペレーター不足対策は？



申崎 利行

**Q** 農業を支える人が高齢化などで足りず、集落営農組織のオペレーター不足が深刻化している。農地を集約して規模拡大が進めば、農機を扱うオペレーターの確保が不可欠となるが考えを伺う。

**A** ふるさと農業研修生制度の活用による後継者の確保・育成を進める他、集落営農組織の合併や広域連携により、オペレーター業務の効率化を進めている。

**Q** 機械操縦が好きな学生や女性、オペレーター専門組織などの考えは。

**A** 従来の担い手確保の考え方を变えていく必要がある。オペレーター人材の確保を地域全体で取組むべき課題と捉え、サポート経営体などと連携に努める。



## 住み続けられるまちづくりを

### 空き家対策に住まいの引継ぎノート活用を



柳楽 真智子

**Q** 空き家となる要因の多くが相続によると言われており、建物をもののように引き継ぐかをあらかじめ考えておくことが大事である。安来市では住まいの引継ぎノートが発行され喜ばれているが、浜田市でも作成できないか。

**A** 建物の所有者や家族が将来の建物の活かし方やしまい方を明確にするものである。適正な管理がなされず、危険な空き家につながるケースもあることから、管理不全空き家増加の抑制に有効と考えるので、関係部署と調整して検討する。

(その他の質問項目)

- ・避難所環境改善
- ・防災情報システム活用
- ・県予算の活用
- ・社会的孤立・孤独対策

### 駅周辺全体の将来像を描くことが第一。



三浦 大紀

**Q** 各検討委員会の提言には、石見神楽拠点施設の具体的な検討には検討組織を立ち上げ議論すべき、三枝酒造跡地は民間活力活用や駅周辺エリア全体で既存施設などの利活用を整理したまちづくり構想も併せて検討すべきとある。施設の検討組織は未設置、浜田駅周辺エリアにぎわい創出に向けた現状分析および調査の結果は議会に報告されていない。三枝酒造跡地に郷土資料館・神楽関連施設を核にした駅周辺整備計画策定着手は時期尚早ではないか。駅周辺の将来像をまず示し、その中で必要なものを考えていくべき。

**A** 提言は重く受け止めている。議論のたたき台として提案するもの。

### 移住・定住促進における必要な支援とは？



沖田 真治

**Q** 本市への定住を促進するうえでの課題とは？

**A** 情報発信や定住相談員を中心とした移住相談対応をしているが、それだけでは移住後の生活などをイメージすることは難しいと考えている。移住先として具体的に検討してもらうためには一定期間の滞在を促す必要ある。

**Q** 一定期間の滞在を支援する政策が必要では？

**A** 進学や就職により転出した若者や多様な価値観を持つ都市部の若者との関係を創出するため、本市で一定期間の滞在を支援する「人材還流による移住促進事業」の実施を予定しており、関係人口や移住検討者の増加に取組む。

(その他の質問項目)  
・「歴史文化保存展示施設基本計画」

## 住み続けられるまちづくりを

### 住民がつながる施策盆踊り大会は？

**Q** 新市誕生20周年を記念し実施される浜っ子夏まつり・盆踊り大会の内容や計画は？

**A** 令和7年8月9日浜田漁港エリアで開催する。かつて町内会で行われていた盆踊りは、高齢化に伴う世話人の減少やコロナ禍の影響で、一部では復活が難しい状況にある。そこで市民の交流の場として必要と考え、盆踊り大会を計画した。

**Q** 記念事業を契機に伝統的な盆踊りなどの再興に向けた取組は？

**A** 実施団体と連携し、世代を超えた交流や伝統文化に触れる機会を創出し郷土愛の醸成につなげる。記念事業に相応しいイベントとし、次年度以降も地域の一体感を高める場となることを期待する。

**Q** 今回の施政方針では三桜酒造跡地の活用について、「神楽伝承保存施設と郷土資料館の複合施設と神楽上演ができる神楽ホール、屋外交流広場の3つの機能を有した施設を整備することで進める」と提案された。議会側との議論が特にないままの提案と思うがどうか。

**A** 提案に至るまで、議会との議論の場がつかれなかったことは申し訳ないが、今後、議論を尽くしていきたい。

**Q** 今後、市民理解をいかにつくっていくのか。

**A** 石見神楽は浜田の核であり、一番訴求できる宝であることをさらに情報発信していきたい。

（その他の質問項目）

- ・物価高騰などによる市民生活支援の取組 他



岡本 正友

### 三桜酒造跡地活用提案は議論を尽くして

**Q** 今回の施政方針では三桜酒造跡地の活用について、「神楽伝承保存施設と郷土資料館の複合施設と神楽上演ができる神楽ホール、屋外交流広場の3つの機能を有した施設を整備することで進める」と提案された。議会側との議論が特にないままの提案と思うがどうか。

**A** 提案に至るまで、議会との議論の場がつかれなかったことは申し訳ないが、今後、議論を尽くしていきたい。

**Q** 今後、市民理解をいかにつくっていくのか。

**A** 石見神楽は浜田の核であり、一番訴求できる宝であることをさらに情報発信していきたい。

（その他の質問項目）

- ・物価高騰などによる市民生活支援の取組 他

**Q** 今回の施政方針を見ると、合併後最大規模の予算である。この12年間、行財政改革に努められ、実質公債費比率なども下がり、基金残高も約160億円となり素晴らしい結果である。再出馬の意思は。

**A** やり遂げたい仕事がある。一つ目は水産業の再生で、誘致した鯛三陽の事業を軌道に乗せることである。二つ目は石見神楽の拠点と郷土資料館の建て替えの整備である。進退についての表明はもう少し先にしたいと考えている。

（その他の質問項目）

- ・紺屋町商店街の街路灯問題
- ・水産業振興のための小規模養殖
- ・農家所得の引き上げ



佐々木 豊治

### 4期目出馬の決意表明をされては

**Q** 今回の施政方針を見ると、合併後最大規模の予算である。この12年間、行財政改革に努められ、実質公債費比率なども下がり、基金残高も約160億円となり素晴らしい結果である。再出馬の意思は。

**A** やり遂げたい仕事がある。一つ目は水産業の再生で、誘致した鯛三陽の事業を軌道に乗せることである。二つ目は石見神楽の拠点と郷土資料館の建て替えの整備である。進退についての表明はもう少し先にしたいと考えている。

（その他の質問項目）

- ・紺屋町商店街の街路灯問題
- ・水産業振興のための小規模養殖
- ・農家所得の引き上げ

**Q** 三桜酒造跡地公共活用検討委員会から「民間活力を生かす手法を検討すべき」との意見があるが。

**A** 三桜酒造跡地は、神楽伝承・郷土資料館、神楽ホール、屋外交流広場の3点を国の補助金や過疎債も活用できるため、公共で行いたい。民間事業者には周辺エリアへの投資を行っていただきたい。

**Q** 浜田市の文化の拠点「石中央文化ホール」の位置付け、活用は。

**A** 文化ホールは文化ホールの機能。改修して活用するより三桜酒造跡地の方が効果を期待できる。

**Q** 地域内経済を優先させる考えについては。

**A** 地元事業者の参画を期待する。経済流出の抑止と併せて外部からの経済獲得を優先させたい。



牛尾 昭

### 人々が集いにぎわいのある公共空間とは！

**Q** 三桜酒造跡地公共活用検討委員会から「民間活力を生かす手法を検討すべき」との意見があるが。

**A** 三桜酒造跡地は、神楽伝承・郷土資料館、神楽ホール、屋外交流広場の3点を国の補助金や過疎債も活用できるため、公共で行いたい。民間事業者には周辺エリアへの投資を行っていただきたい。

**Q** 浜田市の文化の拠点「石中央文化ホール」の位置付け、活用は。

**A** 文化ホールは文化ホールの機能。改修して活用するより三桜酒造跡地の方が効果を期待できる。

**Q** 地域内経済を優先させる考えについては。

**A** 地元事業者の参画を期待する。経済流出の抑止と併せて外部からの経済獲得を優先させたい。

**Q** 三桜酒造跡地公共活用検討委員会から「民間活力を生かす手法を検討すべき」との意見があるが。

**A** 三桜酒造跡地は、神楽伝承・郷土資料館、神楽ホール、屋外交流広場の3点を国の補助金や過疎債も活用できるため、公共で行いたい。民間事業者には周辺エリアへの投資を行っていただきたい。

**Q** 浜田市の文化の拠点「石中央文化ホール」の位置付け、活用は。

**A** 文化ホールは文化ホールの機能。改修して活用するより三桜酒造跡地の方が効果を期待できる。

**Q** 地域内経済を優先させる考えについては。

**A** 地元事業者の参画を期待する。経済流出の抑止と併せて外部からの経済獲得を優先させたい。



西田 清久

## つくる責任 つかう責任

### 有機米作付面積を拡大して学校給食へ



大谷 学

- Q** 令和6年9月定例会議で全国オーガニック給食協議会に加入して成功事例に学び有機農業の振興について提案したら「農家の生産意欲や販路の安定化など波及効果の大きさは認識しているのか」は検討する。」との回答であった。検討結果は？
- A** 令和7年度中の加入に向け準備中である。
- Q** 地産地消への効果は？
- A** JAS認証取得に3年間の転換期間が必要で、この間の有機的栽培の米は主に学校給食や産直市場などに出荷され、地産地消になると考える。
- (その他の質問項目)
- ・手話言語条例の制定
  - ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた教育環境
  - ・3Dプリンターなどの最先端機材の導入等

## 陸の豊かさも守ろう

### 防災面から森林所有者などに山の手入れを



村木 勝也

- Q** 家屋の裏山における森林整備状況は？
- A** 裏山の森林については、雑木や竹林の場合も多く、搬出作業路を整備できない事情もあり、森林経営が図れないため、森林整備が進んでいない状況がある。しかし、防災上の観点からも森林所有者で一定の管理を行っていたり、必要があると考えている。
- Q** 市の補助事業である「特殊伐採事業」および「里山整備事業」の上限を上げる考えはないか。
- A** 特殊伐採事業について、状況によって経費は変動するため、実際に作業を行った林業事業体と相談しながら補助額については検討する。

## ぎかいポストに寄せられた意見へ回答



### ▶ご意見

- ・図書館の利用時間を21時に延ばしてほしい。
- ・イルミネーションのスポットを増やしてほしい。
- ・どんちっち通りの曲を最近の曲にしてほしい。

### ▶対応経過及び結果

夜間の利用については、島根県立大学の図書館は市の施設ではありませんが、大学の試験期間や休業期間などを除き、満15歳以上の方（中学生を除く）が午後8時まで利用できる日もあります。また、学習スペースであれば、浜田市まちなか交流プラザは、平日は午後9時まで開設しています。ぜひご活用ください。

(総務文教委員会)

どんちっちタウン通りの選曲については商店街に、イルミネーションについては設置者へ寄せられたご意見をお伝えし、検討してもらえるよう働き掛けます。

(産業建設委員会)

各まちづくりセンターに、意見・ご要望用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますのでご投函ください。ウェブからも受け付けております。





## 市内の高校に通う高校生と意見交換会を実施

令和7年3月26日、浜田市まちなか交流プラザにおいて浜田市内の高校に通う高校生と議員の意見交換会を行いました。この意見交換会は浜田市議会が推進に向けた取組を進めている主権者意識の醸成と若者の意見を伺い今後の議会活動に生かすことを目的として開催しました。なお、今回の意見交換会は「はまだ協働学舎ファンタス」に企画を依頼して、高校とのコーディネートや当日の進行もしていただきました。

島根県立浜田高等学校、島根県立浜田商業高等学校、島根県立浜田水産高等学校の学生11人（1人はオンライン参加）と議員16人が6グループに分かれ、「#高校生から見た「いいね浜田」「#もっと〇〇な浜田にしたい!」「#ほんとと困ってます!」の3つのテーマで事前に意見が書かれたカードをめくり、意見交換するワークショップでした。

生活に便利な施設や美しい自然環境、特色ある文化・観光の発展や商業施設・飲食店の充実などの意見カードを引き、どのテーブルも活発な意見が交わされていました。また、カードの中には、学生が引けば議員への質問、議員が引けば学生に質問ができる「質問カード」もあり、ドキドキした場面もありました。

意見交換を始める前に簡単なゲームを行い、参加者の緊張をほぐし意見交換の効果を高め、場の空気をつくる工夫もあり、学生の率直な意見を聞くことができ、有意義な時間となりました。



## 地域井戸端会開催のお知らせ

昨年同様に地域井戸端会を開催することといたしました。今回も開催会場を全28会場とし、3常任委員会（総務文教・福祉環境・産業建設）から委員を1人ずつ派遣します。

ご意見・ご要望をお伺いする時間を設けておりますので、暮らしの中での気づきやご意見をお聞かせください。

いただいた意見は各委員会での今後の調査研究に生かします。また、委員会が総括的にまとめた内容を実施会場に掲示する予定です。たくさんのご参加をお待ちしております。

| 会 場 名         | 日 時             |
|---------------|-----------------|
| 大麻まちづくりセンター   | 5月 8日(木) 18:30~ |
| 子育て世代包括支援センター | 5月10日(土) 10:00~ |
| 浜田まちづくりセンター   | 5月14日(水) 18:30~ |
| 石見まちづくりセンター   | 5月16日(金) 18:30~ |
| 二反田団地集会所      | 5月19日(月) 18:30~ |
| 周布まちづくりセンター   | 5月21日(水) 18:30~ |
| 長浜まちづくりセンター   | 5月22日(木) 18:30~ |
| 美川まちづくりセンター   | 5月27日(火) 18:00~ |
| 国府まちづくりセンター   | 5月29日(木) 18:30~ |
| 久佐まちづくりセンター   | 5月13日(火) 18:30~ |
| 波佐まちづくりセンター   | 5月15日(木) 18:30~ |
| みどりかいかん       | 5月20日(火) 18:30~ |
| 今福まちづくりセンター   | 5月20日(火) 18:30~ |
| 小国まちづくりセンター   | 5月22日(木) 18:30~ |
| 美又まちづくりセンター   | 5月29日(木) 18:00~ |

| 会 場 名       | 日 時             |
|-------------|-----------------|
| 木田まちづくりセンター | 5月13日(火) 18:30~ |
| 今市まちづくりセンター | 5月16日(金) 18:00~ |
| 都川まちづくりセンター | 5月17日(土) 10:00~ |
| 市木まちづくりセンター | 5月22日(木) 18:30~ |
| 和田まちづくりセンター | 5月29日(木) 18:30~ |
| 杵束まちづくりセンター | 5月 7日(水) 18:30~ |
| 安城まちづくりセンター | 5月 9日(金) 18:30~ |
| 黒沢まちづくりセンター | 5月 7日(水) 18:30~ |
| 三隅まちづくりセンター | 5月13日(火) 18:00~ |
| 井野まちづくりセンター | 5月14日(水) 18:30~ |
| 岡見まちづくりセンター | 5月15日(木) 18:30~ |
| 三保まちづくりセンター | 5月21日(水) 18:30~ |
| 白砂まちづくりセンター | 5月27日(火) 18:30~ |

※出席議員は、市議会ホームページや最寄りのまちづくりセンターへの掲示などでお知らせします。



近年、地域を取り巻く環境の変化は厳しさを増し、不確実で複雑化する社会となる中、地域課題も多様化し、解決が難しくなっています。そこで、地域課題を解決するために地域コミュニティと協調し取り組むことが必要と考え「石見地域循環共生協議会」が発足されました。市議会として、持続可能な地域づくりと豊かな生活の創造への事業展開や活動に対し浜田市ができる行政支援の後押しができればと思います。

(インタビュー：大谷 学、沖田 真治)

## 持続可能な地域づくりに向けて — 豊かな生活の創造への挑戦 —

石見地域循環共生協議会 会長 矢口 伸二さん

### 地域コミュニティと 協調する仕組みづくりが大事

— 協議会を立ち上げられた思いは？

矢口 浜田市に限らず石見地域の自治体では職員が減っています。その中で業務量は増加傾向にあり、数年で配置転換もあり、職員は新たな分野への取組となり、蓄積したノウハウが継承されないといった課題があります。

一方、国は脱炭素やDXなどの新事業に対して補助金を出しています。各自治体の財政状況が厳しい中においても積極的に補助金を活用した事業を行ってほしいと思います。民間企業だけでは補助金の獲得は難しいです。

そこに中間組織として自治体を人材やノウハウなどでサポートしたいという思いで、協議会を立ち上げました。

— 協議会の目的は？

矢口 新規の事業に取組むとき地域連携は、最も重要です。我々の協議会は産・官・学に民も加えた産・官・学・金融・民の接着力の役割を担って事業創造や地域連携を目指します。異業種・異文化連携や交流、さらには世代や企業を超えた学びの場として限りあるヒト・モノ・カネ、情報の循環を促進し持続可能な地域づくりと豊かな生活の創造に貢献し、共に地域を創り上げていくことを目的としています。

目的達成に向け、地域の持続的な発展や町が抱えるさまざまな課題の解決を図りたいの思いを持ってもらえる貴重な人材を発掘したいです。具体的には協議会を中心にするような方に声を掛け仲間を増やし、地域に不足しているものをみんなが補完しながら思いの

実現や課題の解決に立ち迎えるよう、浜田や石見を応援していければと思います。



## 多様な人材との 共働活動

——組織はどのような構成ですか？

**矢口** 産業界から声を上げ、現在、浜田市、江津市、益田市で活動しています。可能であれば県全体に広げていきたいと思っています。主要なメンバーは地元の経済団体、自治体、大学などの教育機関、地元全ての金融機関、企業、市民、NPOなど多様な団体や個人の方々に賛同いただき、令和7年1月15日に設立し会員は85人です。

## 持続可能な社会の構築と 経済発展を目指して

——中間組織として期待できることは何ですか？

**矢口** 各自治体の財政も厳しい状況です。産業界も利益を上げられる状況にはありません。そのような状況において企業の設備投資などインシャルコスト削減を図るため、国からの補助金は貴重です。地域が連携して補助金を活用していくことを期待しています。煩雑な申請手続きにおいて大手コンサル会社に頼り切ってしまうケースも多いです。それではお金が都会地へ流出してしま

い持続可能になりません。過去の反省から地域で人材を育てノウハウを残すこと。そういった成果を残してつなげていくことが協議会に期待できることと考えています。

——人材育成にも力を入れていくとお考えですが、どのように進めますか？

**矢口** 持続可能な石見や浜田を創っていく意味で



いろいろなことがありますが、特に少子化問題です。子どもをつくりたいけど経済的な理由で諦めているケースもあると思います。ですので、まずは所得を増やす必要があるかと思っています。雇用が必要と言われますが現在、浜田市においても人手は不足しています。企業誘致して雇用を取られてしまつて地元企業に人手が足りない状

は人材育成が重要です。すでにDXに関する講演会を実施しました。新規の事業を起こすことによってさまざまな業種に受注が発生し、できる限り地域に発注することによって、地域に新たなノウハウが蓄積され、次の事業に生かそうとする。ことで次の新たな人材が出ることもつながるのではと思っています。

——目指すべき持続可能な地域の姿とは

**矢口** いろいろなことがありますが、特に少子化問題です。子どもをつくりたいけど経済的な理由で諦めているケースもあると思います。ですので、まずは所得を増やす必要があるかと思っています。雇用が必要と言われますが現在、浜田市においても人手は不足しています。企業誘致して雇用を取られてしまつて地元企業に人手が足りない状況では意味がないので地元企業が合理性のあるノウハウを活用し、男女ともに所得の得られる仕事を創り出し所得を得られる雇用が必要。ただ、所得が得られたとしても残業が多く時間的余裕がないようでは意味がありません。DXも駆使し、合理的かつ効率的なノウハウを創出し共有してつなげることが豊かな生活を享受する上で重要です。もつ一つ、「この地域に住み続けたい」と思えることも重要です。イターンしてきた人間だから実感していますが、浜田は海や山が近く自然豊かで、時間がゆっくり流れた素

晴らしいところだと思います。一方、医療、特に産婦人科など足りてない部分も感じています。このような地域課題を協議会の多種多様な人材で立ち向かっていくことによって、住みやすく、住み続けたい、都会地に暮らす子どもたちが戻ってきた、子どもを産み育てたいと願うような町を目指していきたいです。地域創造の要は、やはり人です。浜田地域で皆さんが、愛着を持って共に地域課題に立ち向かう思いになれば持続可能な地域ができるのではないかと思います。



**矢口 伸二** (やぐち しんじ) さん  
石見地域循環共生協議会 会長  
神楽電力株式会社、ウィンドパワーグループ  
代表取締役、島根県経済同友会 副代表幹事・石央支部長、浜田商工会議所 監事、  
公益社団法人浜田法人会 副会長など他多くの役職を務められている。平成7年(1995年)に東京都から島根県浜田市へイターン。現在は6人の子どもの父親。趣味は子どもと遊ぶ事、スキー、大型バイク。

# レポート



## 総務文教委員会

### 提言に向けた行政視察 ～移動の自由をどうつくるか～

令和7年1月20日～23日で行政視察を行いました。NPO法人CRファクトリーが神奈川県川崎市から委託を受け運営している「川崎ワカモノ未来PROJECT」から中間支援組織の必要性や事業効果について学びました。また、東京都豊島区の「区民提案制度」からは行政政策への住民の参画意識の醸成、行政サービスの向上につながった事例などを、千葉県香取市の地域デマンド交通「かとくる」では、取組課題である地域交通について合併後の香取市が広い市域で効率的に運行を行うため、再編した公共交通形態についての事例や区域・ルート運行について、AIを使った予約システムなど多くを知ることができました。今後、



委員会においてより良い地域交通を目指した提言に向け検討を重ねてまいります。

## 福祉環境委員会

### 持続可能な医療体制などに関する 提言まとめる

「持続可能な医療体制の構築と健康寿命の延伸」をテーマに調査研究を進め、医療現場の人手不足や働き方改革、高齢化社会に伴う医療ニーズの多様化などの課題に対応するため、①江津市との連携強化と病病連携の推進支援②医療アクセス改善のためのオンライン診療などの実証実験を加速③診療科偏在に関する医療関係者と市民の相互理解の場を設ける④医師などの人材獲得に向け、奨学金制度や育成支援、事業承継支援を実施⑤健康寿命延伸に向けた資金調達方法を検討し若者への取組拡大といった提言を3月18日に市長へ提出しました。当市は男性平均自立期間が県内ワースト2位、女性1位。これらの施策を通じ地域全体で支え合う体制の構築が求められ、当委員会も共に課題に取り組んでまいります。



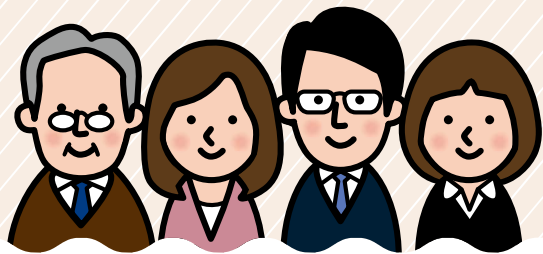
## 産業建設委員会

### 陳情審査のため陳情者から意見を聴取

当委員会は陳情審査の参考とするため、1月27日に陳情者からご意見を伺いました。陳情は「美又温泉会館の譲渡を受けての営業状況が芳しくなく、公衆浴場としての機能の継続に憂慮している。赤字分の補填を願いたい。」との内容であり、「美又温泉会館」および本体である「かめや旅館」の経営状況や運営状況の聞き取りを行いました。

聞き取りの内容は、「美又温泉会館」の入湯料金増減額改定による入湯者数変化に伴う収入の増減や、本体であるかめや旅館との関わり、また公衆浴場としての今後についてなどでした。

この中で、「美又温泉会館」の営業努力でできる部分と公衆浴場機能との兼ね合いが複雑に絡み合い、公衆浴場機能の維持には、温泉使用料や水道使用料の減免、駐車場代などについても市として考慮する必要があるのではないかと委員間での意見の一致をみました。



# 委員会活動

## 議会運営委員会

### 情報発信のため、広報費を導入

当委員会では、令和6年度から増額となった政務活動費を有効活用するために、現在の調査研究費や研修費、広聴費などに加え、広報費の導入を検討しました。広報費については、政務活動とそれ以外の活動が併存する可能性があり、選挙活動や政党活動、後援会活動には、充当できないこととしています。

広報紙やホームページ、ブログ、有料版SNS等の開設費・管理費などに係る経費を広聴費として充てることができることとしました。

検討の中では、政務活動費の活用としてどこまでを認めるか認めないかについてさまざまな議論を行う中で、使いにくくならない範囲で制限を設けています。いずれにしても、政務活動費の使途は個々の議員が市民の皆様に対して、しっかりと説明できるよう努めてまいります。

## 議会改革推進特別委員会

### 議会としての事務事業評価を本格実施！

令和6年度に試行で行った「議会による事務事業評価」を本格実施します。各委員会から3事業ずつを選出し、全議員で事業の評価を行い廃止も含めた改善や提案などをまとめ、市の対応などの報告を受けるものです。

今回選んだ事業は「結婚新生活支援事業」「介護人材確保・定着対策事業」「浜田市商業活性化支援事業」など9事業です。

令和7年度の一般会計の当初予算は初めて400億を超え、422億円となっており、投資的経費が増額したことによるとされています。議員個々の訴えより、議会全体で団結した「事務事業評価」による訴えは、二元代表の一翼を担う議会の監視機能をしっかり果たすこととなり、執行機関に対し大きな力が働きます。今後、市民の声も伺いながら、この取組を進化させていきます。

## 議会広報広聴委員会

### 令和7年度広報広聴活動を決定！

当委員会の主な広聴活動として、近年、地域井戸端会は5月に、はまだ市民一日議会は10月に実施していましたが、令和7年度は10月に市議会議員選挙があるため、どのように実施するかについて協議しました。協議の中では、地域井戸端会の開催時期を通年にしてはどうかという意見やはまだ市民一日議회를中止または開催日を変更する意見もありましたが、より多くの市民の声をお聞きしたいとのことからこれらの活動は改選前に実施した方が望ましいということになりました。その結果、地域井戸端会は昨年同様5月に全28会場で実施、第5回ははまだ市民一日議会は7月6日（日）に実施することとなりました。どちらも浜田市議会にとって重要な活動です。多くの方の思いをお聞かせください。

この他に議会だよりを年4回、議会だよりminiを年8回発行します。浜田市議会の活動について興味を持っていただけるようしっかりと情報発信していきます。

地域井戸端会、はまだ市民一日議会、議会だよりminiの詳細は浜田市議会ホームページよりご覧ください



地域井戸端会



はまだ市民一日議会



議会だよりmini



## 議長からのメッセージ

議長の笹田です。

このたび、令和7年度当初予算の修正案が可決された経緯をお話します。

1年前にさかのぼり、市長が令和6年2月26日の施政方針で述べた三桜酒造跡地、石見神楽伝承館と郷土資料館の併設のことを、その日の全員協議会で「三桜酒造跡地活用等についての対応方針については、一旦凍結させていただき、石見神楽伝承館と浜田郷土資料館の併設案や場所については、今後、議会のご意見も伺いながら検討したい」と凍結されたことから始まります。

その後、令和6年6月定例会議で「浜田駅周辺エリア賑わい創出に向けた現状分析及び調査事業」約370万円が補正予算で計上され、可決しました。議会は、その分析・調査結果をベースに三桜酒造跡地活用の協議が行われるものと考えていました。

しかしながら、昨年、凍結されてから議会への正式な見解が示されないままこのたびの施政方針が表明されました。それに対し、多くの議員が疑義を感じ、3月定例会議で多くの議論が重ねられました。

それぞれ議員は市民のことを思い、将来の浜田市のことを考え、苦渋の判断をされての表決になったのではないかと推察します。議会内においても石見神楽の振興と郷土資料館の建て替えを推進すべきとの意見は多数あります。浜田市議会は通年会期制です。いつでも議論・協議・審議が行えるので、議案をいつでも提案することが可能です。これからも市民のことを思い、浜田市の将来を考え、信頼される議会となるよう21人全力で精進します。



# 6月

## 定例会議の 予定

- ・ 6月23日(月) 開会
- ・ 6月24日(火)～6月27日(金) 一般質問

ぜひ傍聴にお越しください。  
※変更になる場合があります。

次号 (Vol.78) は  
9月1日発行予定です。

## はまだ議会だより miniも 見てね



コチラ

4月1日の36号はご覧いただけましたでしょうか。miniは浜田市議会ホームページにウェブ版として掲載していますのでぜひご覧ください。  
次号は6月1日に発行予定です。

## 表紙について

こども美術館収蔵のフランス児童が制作した音楽をテーマにしたコラージュ作品です。右側はギターでしょうか。毎回表紙を選ぶ際に、こどもたちの発想力にワクワクさせられます。同館では、5月18日まで、体験できる展覧会「四角い形であそぼう」が開催されています。ぜひお出掛けください。

## 編集委員

| 委員長 |     | 副委員長 |    | 委員 |    |
|-----|-----|------|----|----|----|
| 村武  | まゆみ | 村木   | 勝也 | 肥後 | 孝俊 |
| 大谷  | 孝俊  | 三浦   | 大紀 | 沖田 | 真治 |
| 川上  | 幾雄  | 川野   | 幾雄 | 西野 | 清茂 |
| 神田  | 裕司  | 神田   | 裕司 | 神田 | 裕司 |

(記 沖田 真治)

「自治体にとつての『元旦』は年度初めの4月1日とさえそうだ。しかし実質は2、3月に開かれる議会初日での首長の所信表明ではないか。」これは浜田省司高知県知事の言葉で、これを引用すると令和7年度は2月25日が浜田市にとつての元旦になります。二元代表制の一翼を担う浜田市議会の3月定例会議の様子が市民の方々にどのように映ったか、評価はさまざまであろうかと思えます。議会と市長がお互いに対等な立場に立ち議論を重ねながら、今後も市政発展のため取り組んでいきます。本年度もどうぞよろしくお祈りします。

あとがき

★この議会によりは1部当たり33・22(税込)です。